

製品名: ムチン 1 (リン酸化 Tyr1243) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05050**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	MUC1
別名	MUC1; PUM; Mucin-1; MUC-1; Breast carcinoma-associated antigen DF3; Carcinoma-associated mucin; Episialin; H23AG; Krebs von den Lungen-6; KL-6; PEMT; Peanut-reactive urinary mucin; PUM; Polymorphic epithelial mucin; PEM; Tumor-associated ep
遺伝子 ID	4582.0
SwissProt ID	P15941
免疫原	抗血清は、ヒト CD227/ムチン 1 の Tyr1243 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1204-1253

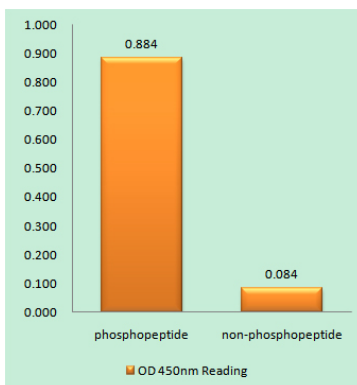
背景

MUC1は、女性生殖器、肺、乳房、腎臓、胃、膵臓の様々な上皮細胞で発現するI型膜貫通糖タンパク質です。MUC1は大きな前駆遺伝子産物として転写され、翻訳後に小胞体で切断され、2つのサブユニット、すなわち大きな細胞外N末端サブユニット（MUC1-N、約120~200 kDa）と小さな細胞質C末端サブユニット（MUC1-C、約23~30 kDa）が生成されます。既知のムチンの中で、MUC1は最もよく研究されており、細胞増殖、アポトーシス、接着、浸潤など、多くの細胞特性の制御において重要な役割を果たしています。MUC1は、幅広いヒト上皮性悪性腫瘍で過剰発現しています。

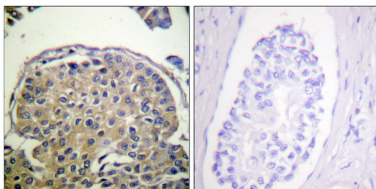
研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



CD227/ムチン1（リン酸化Tyr1243）抗体を用いたリン酸化ペプチド（リン酸化左）および非リン酸化ペプチド（リン酸化右）免疫原の酵素結合免疫吸着測定（リン酸化ELISA）



CD227/Mucin 1（リン酸化Tyr1243）抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。